

記者発表資料
平成20年11月6日
こども青少年局青少年育成課長
泉 誠
電話 671-2297
こども青少年局企画調整課長
宮本 正彦
電話 671-4280

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

11月22日(土)
13:00~15:00



保土ヶ谷区青少年の地域活動拠点に

子どもたち手作りの「野菜カフェ」OPEN!



保土ヶ谷区天王町にある青少年の地域活動拠点「ハピスク」(裏面参照)では、食育、地産地消、職業観の醸成、農業振興、地域の人たちとの交流などの観点から、青少年による「野菜カフェ」を11月22日(土)の1日限定でオープンします。

「野菜カフェ」オープン前には…

- ・ **地元の農家の方**などから農業、野菜、地産地消について、
- ・ **プロのシェフ**(横浜野菜推進委員会)からメニューや調理を、
- ・ **建築家や横浜国立大学の学生**からお店のレイアウトや飾りつけなどを勉強してのぞみます!

第1日目 11月8日(土) 「地元のおいしい野菜を知る」 9:30~15:00

- 9:30~ 保土ヶ谷区で取れる野菜のお話
- 10:30~ 野菜をつかって昼食づくり
- 11:30~ 試食
- 12:15~ 地産地消の大切さ~保土ヶ谷弁当プロジェクト体験談をふまえて~
- 13:00~ 野菜地モノ市で野菜の販売体験
- 13:30~ 野菜カフェで出すメニュー考案

第2日目 11月15日(土) 「おいしい野菜をよりおいしく食べてみる」 13:00~16:00

- 13:00~ 1日目に考えたメニューをグループ毎に調理
- 14:00~ 野菜カフェのコンセプトを考え、手作りの家具でお店をレイアウト
- 15:00~ お店で試食会(シェフからアドバイス)

第3日目 11月22日(土) 「野菜カフェオープン!」 10:00~16:00

- 10:00~ 野菜カフェ準備(空間づくりチーム、調理チームに分かれて準備)
- 13:00~ 野菜カフェオープン(野菜地モノ市と同時開催)
- 15:00~ 反省会

おいしい野菜を食べに、ぜひ取材にお越しください。(別添チラシ)

“青少年の地域活動拠点”とは

横浜市では、青少年が安心して気軽に集い、仲間や多世代と交流する機会を提供するとともに、地域資源を活用した様々な活動プログラムを展開するため、「青少年の地域活動拠点」を平成 22 年度までに各区に設置していく予定です。

この事業では、学校や地域、関係機関等と連携しながら、青少年の自立と健全な成長の支援に取り組んでいます。

「Happy Square」ハピスクは、このようにして完成しました！

ハピスクは、平成19年10月1日、保土ヶ谷区天王町に、市内ではじめての「青少年の地域活動拠点」としてオープンしました。オープン後、次のプログラムをへて、現在のハピスクが完成しました。

● 横浜国立大学やアーティストと一緒に取り組んだワークショップ

オープン当初は、白い床と壁に囲われた空間だったため、ワークショップでは、「施設っぽい」「冷たい」印象を受けるといった意見が出されました。そこで、中・高校生だけでなく、地域の皆さんが気軽に立ち寄れるあたたかい雰囲気づくりを目指して、ワークショップに参加した若者たちが内装を仕上げました。その後、建築家やペインターのアーティストが講師となって、心地よく使いやすい素敵な場所になるよう、壁のデザインを考えるなど、空間を自分たちの手で創りあげました。

また、愛称である Happy Square (略して、ハピスク) は、青少年をはじめ広く皆さんに親しまれる場所となるよう、区内の中学生から募集しました。その結果、多数の応募があり、青少年指導員の方々や地域活動拠点のスタッフ等による投票の結果、決定されたものです。



▲ レイアウトを検討



▲ 壁をペイント中

● ハピスクを「自分たちの部屋に作りかえよう」

建築家や横浜国立大学の学生さんと一緒に、小・中学生がハピスクの空間を「自分たちの部屋」に作りかえるワークショップを開催しました。空間に必要な家具を考えるため、ダンボールの模型を作って考えたほか、いろいろなサイズのボックスを組み合わせることで、テーブルやイスなどの家具として使えるよう、パターンを考えました。

ワークショップで使ったボックスは、テーブルやイス、収納家具として、現在もハピスクで様々なかたちに日々変化しています。

ハピスクではこれまで、県内でとれた減農薬野菜・地場野菜を地域の皆さんに食べてもらおうと、月に2回、野菜地モノ市を開催しています。

今回は、青少年や地域の皆さんで考え、創りあげた空間で、保土ヶ谷区内でとれる「野菜」を使った手作りメニューをお出しします。



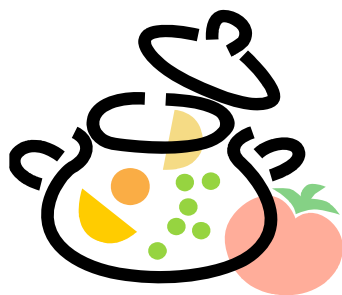
ハピスクで野菜カフェをひらこう！

横浜野菜推進委員会のシェフ、保土ヶ谷区の農家の方など地域の方々とともに、保土ヶ谷区の野菜を調理して、ハピスクで「野菜カフェ」をオープン！ハピスクの空間を素敵なお店に変身して、お友達や地域の方、ご家族の方などおいしい野菜をたくさん食べてもらいましょう。

第1回 「地元のおいしい野菜を知る」

農家の方や地元の方から、保土ヶ谷区でとれる野菜や、地元の野菜をおいしく食べることの大切さなどをお話いただき、実際に野菜を使った昼食をつくって試食します。午後からは野菜の販売体験やカフェで出すメニューを考えます。

- 日時 平成20年11月8日(土)9:30~15:00



第2回 「おいしい野菜をよりおいしく食べてみる」

プロのシェフからアドバイスをもらいながら、第1回目で考えたメニューを作って、試食し、よりおいしくするためにはどうすればいいか考えましょう。

また、素敵なお店にするために、建築家や横浜国大の学生たちとお店のレイアウトや飾りつけなども考えます。

- 日時 平成20年11月15日(土)13:00~16:00

第3回 「野菜カフェオープン！」

「お店づくりチーム」、「野菜を調理するチーム」、「お客さんを集めるチーム」に分かれて、素敵なお店「野菜カフェ」をオープン。野菜を使ったおいしい料理を調理して、地域の人やおうちの人に食べていただきます。食べていただいた方から感想を聞いてみましょう。

- 日時 平成20年11月22日(土)10:00~16:00

上記3回とも

- 場所 保土ヶ谷区青少年の地域活動拠点 ハピスク
 - 対象 小学生(4年生以上)・中学生・高校生
*3回とも参加できることが望ましい
 - 人数 20名(応募多数の場合は抽選のうえ決定します。)
 - 参加費 無料
 - 応募締めきり 10月31日(金)
 - 持ち物 各回ともエプロンとハンカチをご持参ください。
-

ハピスクワークショップのご参加にあたって

【講師①】 苺部さん

地元西谷で農業を営んでいます。旬の野菜は何かなど、野菜に関するお話や農業という職業についてお話を伺います。

【講師②】 小林さん

地産地消による「保土ヶ谷弁当」プロジェクトのリーダー。
地産地消の大切さをお話いただきます。

【講師③】 横浜野菜推進委員会 椿さん(シェフ)

プロのシェフです。料理を通じて学んだ3つの「心」について、メニューづくりや調理へのアドバイスを通して伺います。

【講師④】 岸さん(建築家)

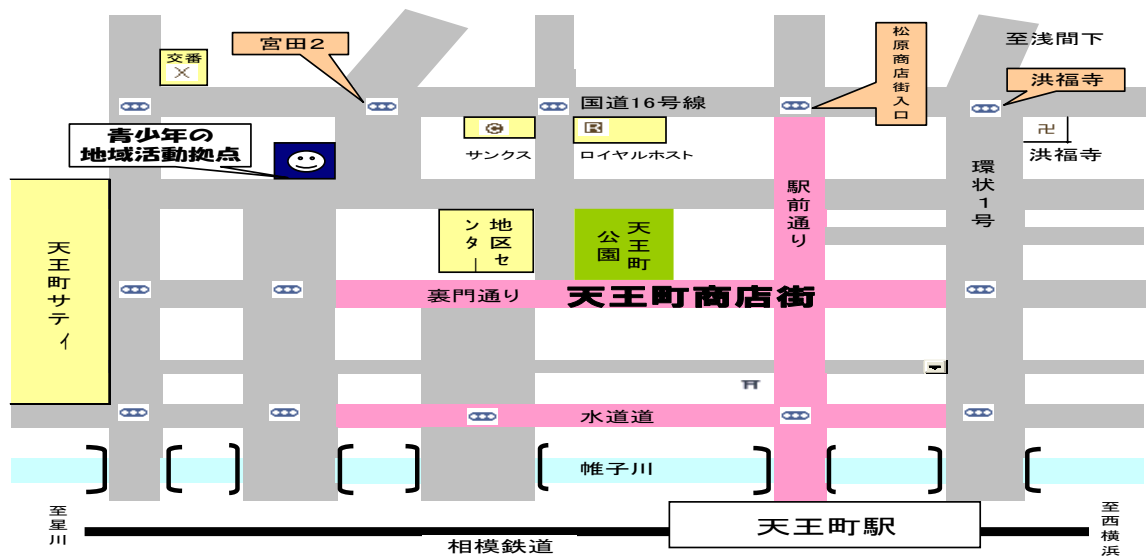
前回のワークショップに引き続き、「カフェ」をオープンするにあたり、「空間」の活用部分についてアドバイスをいただきます。

【アクセス】電車：相鉄線「天王町」駅下車徒歩7分

バス：市営バス 5,28,32,83,101,201,202,212 系統

神奈中バス 横 4,横 51,横 52,横 121 系統

相鉄バス 浜 5,旭 10 系統「宮田町」下車徒歩3分



【申し込み方法・問い合わせ】

FAXまたはEメールに「ワークショップ参加希望」と書いて、住所、氏名、学校名、学年、電話番号、参加希望日を記入して、下記までお送りください。なお、アレルギーなど、配慮が必要な場合は併せてご記入ください。

また、当日調理等のお手伝いをしていただける方も募集します。その場合「ワークショップボランティア」と明記し、住所、氏名、電話番号、参加希望日を記入して下記までお送りください。

●保土ヶ谷区青少年の地域活動拠点 ハピスク

住所：保土ヶ谷区天王町 1-30-17

運営法人：NPO法人 リロード

TEL/FAX 334-3040

E-mail you-pla.west@globe.ocn.ne.jp

【ワークショップ共催】

横浜国立大学

横浜市市民活力推進局

(財)横浜市芸術文化振興財団

保土ヶ谷区役所

横浜市子ども青少年局